

2004年10月22日

## 2005年2月期 中間業績概要

会社名 株式会社 そごう  
 代表者 代表取締役 内村 俊一郎  
 本社所在地 神奈川県横浜市西区高島二丁目18-1  
 問合せ先責任者 株式会社ミレニアムリテイリング  
 取締役財務経理本部長 大道 基樹  
 TEL 03 - 6213 - 7172

## 1. 当中間期の業績(2004年3月1日~2004年8月31日)

## (1) 経営成績

金額表示: 百万円未満切捨

	総売上高	前中間期増減率	営業利益	前中間期増減率	経常利益	前中間期増減率
当中間期	216,242	( 0.4%)	7,261	( +29.2%)	7,252	( +38.8%)
前中間期	217,172	( 2.8%)	5,621	( +193.1%)	5,225	( +72.0%)
04年2月期	448,211	( 1.3%)	13,265	( +99.4%)	14,013	( +73.5%)

	中間純利益	前中間期増減率	総売上高 営業利益率	総売上高 経常利益率
当中間期	7,565	( +65.0%)	3.4%	3.4%
前中間期	4,584	( 67.9%)	2.6%	2.4%
04年2月期	13,574	( 45.7%)	2.9%	3.1%

## (2) 配当状況

	1株当たり 中間配当金	1株当たり 年間配当金
	円 銭	円 銭
当中間期	-	-
前中間期	-	-
04年2月期	-	-

## (3) 財政状態

	総資産	株主資本	株主資本比率	1株当たり株主資本
当中間期	297,682 百万円	12,265 百万円	4.1%	47,174 円 38 銭
前中間期	285,926 百万円	4,220 百万円		16,232 円 38 銭
04年2月期	284,348 百万円	4,825 百万円	1.7%	18,561 円 30 銭

期末発行済株式数 当中間期 260 千株 前中間期 260 千株 04年2月期 260 千株

## 2. 2005年2月期の業績予想(2004年3月1日~2005年2月28日)

総売上高	営業利益	経常利益
455,000 百万円	16,000 百万円	14,000 百万円

### 3. 経営成績及び財政状態

#### (1) 経営成績

当中間期の経営成績につきましては、以下の通りとなりました。

- ・ 総売上高 2,162 億円 前年差 9 億円。  
内訳は、店舗事業 10 億円、法人外商事業 + 1 億円。  
なお、当中間期の総売上高増減率は 0.4% ですが、構造改善実施 6 店舗の増減率は + 1.8% (未実施 5 店舗計 4.5%) となりました。
- ・ 営業利益 72 億円 前年差 + 16 億円。  
内訳は、営業総利益 574 億円 (+ 11 億)、販売管理費 501 億円 ( 6 億) となりました。  
また、総売上高営業利益率は 3.4% となり、前年から 0.8% 増加いたしました。
- ・ 経常利益 72 億円 前年差 + 20 億円。
- ・ 特別利益 23 億円。  
主な内訳は、投資有価証券売却益等です。
- ・ 特別損失 20 億円。  
主な内訳は、固定資産の除却損・撤去費等です。
- ・ 当期純利益 75 億円 前年差 + 30 億円。

#### (2) 財政状態

当期の財政状態につきましては、以下の通りとなりました。

- ・ 総資産 2,976 億円 04 年 2 月期差 + 133 億円。  
固定資産の主な増減内訳は、広島店等の店舗構造改善等設備投資 + 47 億円、不動産の売却 17 億円、減価償却 38 億円、除却 6 億円などとなっております。
- ・ 総負債 2,854 億円 04 年 2 月期差 + 59 億円。  
借入金の主な増減内訳は、借入方式の変更により + 172 億円、長期借入金の約定返済等により 100 億円となっております。
- ・ 自己資本 122 億円 04 年 2 月期差 + 74 億円。

##### < 自己資本額の推移 >

03 年 8 月期	04 年 2 月期	04 年 8 月期
42 億円	48 億円	122 億円

( 3 ) 2004 年度下期に対処すべき課題

2004 年度下期につきましては、次なる成長へ向けた営業体制を整える半期と位置付け、上期からの重点テーマである営業力修復と仕事の仕方の変革を継続し、顧客からの信頼回復に全力を挙げてまいります。顧客からの発想、現場からの発想を重視し、改革のスピードを加速していくべく下記施策に取り組んでまいります。

・ グループとしての取り組み

- ストアオペレーションの継続改善と要員構造の適正化
- パーソナルマーケティングと上得意顧客政策の推進
- 商品政策の見直し、シニア・マチュアマーケットへの対応強化
- テナント事業の基盤整備と収益力強化
- 複合商業施設化の推進

・ 当社としての取り組み

- 1 ) 複合商業施設化の更なる推進
  - ・ 各店舗において、マーチャンダイジングミックス、快適空間の提供、イベント・エンターテイメント企画の充実を図る
  - ・ 店舗営業投資による顧客の関心が高い領域・ライフスタイルニーズへの対応力強化
- 2 ) シニア・マチュア顧客対応の更なる強化
  - ・ 重点15売場を中心に、マーチャンダイジング及び企画の充実、本格化を図る
- 3 ) パーソナルマーケティングの実践
  - ・ 上得意顧客への重点施策の実施、お得意様部門の強化
  - ・ 「顧客をつくる」売場活動、「顧客を守る」店舗活動の精度向上
- 4 ) 売場再編と要員構成の適正化推進
  - ・ 売場再編、売場職務再設計による売場運営の強化、効率化の推進
  - ・ 係長を中心とした現場力、販売力の強化
- 5 ) 心斎橋プロジェクトの本格的な推進
  - ・ 心斎橋店開店準備室が本格稼働
  - ・ 05年秋の開店に向けてのプロジェクトの確実なる推進

ミレニアムリテイリンググループとして、(株)西武百貨店をはじめとするグループ会社とのシナジー経営を生かし、更なる企業価値の向上を図ってまいります。

比較貸借対照表

(単位：百万円)

	前中間事業年度 (03.8.31)	当中間事業年度 (04.8.31)	前事業年度 (04.2.29)
(資産の部)			
流動資産	60,481	81,052	60,532
現金及び預金	32,398	51,979	32,141
売上債権	7,383	7,543	8,769
棚卸資産	10,190	8,998	9,530
その他	10,539	12,534	10,143
貸倒引当金	30	2	53
固定資産	225,444	216,629	223,816
有形固定資産	119,523	121,103	121,128
建物等	68,044	72,277	71,150
土地	51,479	48,825	49,977
無形固定資産	19,706	19,610	19,775
投資等	86,214	75,915	82,912
投資有価証券	2,122	1,565	2,208
長期貸付金	43	21	31
差入保証金	74,285	67,458	72,782
その他	10,831	7,642	8,790
貸倒引当金	1,069	771	900
資産合計	285,926	297,682	284,348

	前中間事業年度 (03.8.31)	当中間事業年度 (04.8.31)	前事業年度 (04.2.29)
(負債の部)			
流動負債	128,264	92,279	128,063
買入債務	18,418	17,285	17,423
短期借入金	77,328	44,160	79,497
未払金	7,761	7,961	8,821
商品券	13,980	10,144	9,752
その他	10,774	12,727	12,568
固定負債	161,882	193,137	151,459
長期借入金	151,447	183,796	141,317
退職給付引当金	6,814	4,125	4,162
その他	3,621	5,215	5,979
負債合計	290,147	285,417	279,522
(資本の部)			
資本金	130	130	130
資本剰余金	37,709	500	500
利益剰余金	42,148	11,617	4,051
評価差額金	88	18	144
資本合計	4,220	12,265	4,825
合計	285,926	297,682	284,348

## 比較損益計算書

(単位：百万円)

	前中間事業年度 (03.3.1~03.8.31)	当中間事業年度 (04.3.1~04.8.31)	前事業年度 (03.3.1~04.2.29)
総売上高	217,172	216,242	448,211
その他の営業収入	1,558	2,563	4,455
営業収益計	218,731	218,806	452,667
売上原価	162,340	161,358	334,648
販売費及び一般管理費	50,768	50,185	104,752
営業費用計	213,109	211,544	439,401
営業利益	5,621	7,261	13,265
受取利息・配当金	75	94	152
その他の営業外収益	274	1,063	2,919
営業外収益	350	1,157	3,072
支払利息	506	630	953
その他の営業外費用	239	537	1,370
営業外費用	746	1,167	2,324
経常利益	5,225	7,252	14,013
特別利益	8,529	2,373	13,100
特別損失	9,147	2,056	13,492
税引前当期純利益	4,607	7,568	13,621
法人税、住民税及び事業税	22	3	46
当期純利益	4,584	7,565	13,574